

道立高校の校則の見直しに係る調査結果(令和6年9月)

○調査の概要

1 調査内容

令和3年(2021年)12月20日付け教生学第856号通知「校則の見直し等に関する取組について」に基づき見直した内容や方法等

2 調査対象校

道立高校218校(全日・定時・通信別、中等教育学校を含む)
※校則がない3校を除く

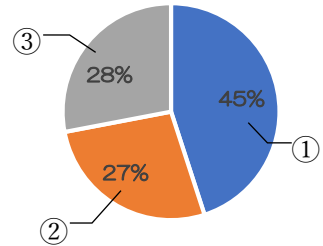
3 調査期間

令和6年9月13日~10月4日

○調査の結果

1 令和5年度及び令和6年8月末までの間の校則の点検・見直しの取組状況

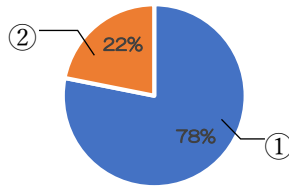
① 令和5年度中に見直した	98校(45%)
② 令和6年度中に見直した	59校(27%)
③ 点検は行ったが、見直しは行わなかった	61校(28%)
④ 点検を行っていない	0校(0%)



(参考:令和4年度調査)

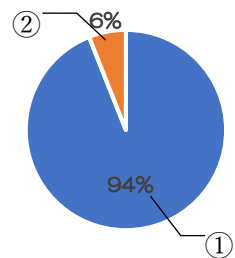
令和元年度から令和2年度までの校則の点検・見直しの状況

① 見直しを行った	175校(78%)
② 点検は行ったが、見直しは行わなかった	49校(22%)

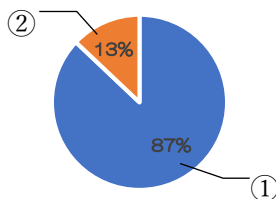


2 校則の見直しを行う場合、生徒が話し合う機会を設けたり、保護者からの意見を聴取したりする機会を設ける仕組みの状況

① できている	206校(94%)
② できていない	12校(6%)

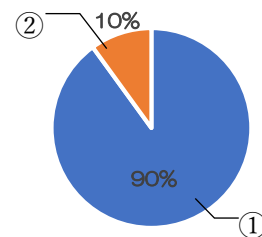


(参考:令和4年度調査)

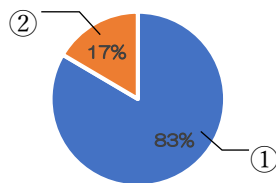


3 校則を見直す上で、校則の見直しの手続きについて、生徒や保護者への周知の状況

① 周知している	196校 (90%)
② 周知していない	22校 (10%)

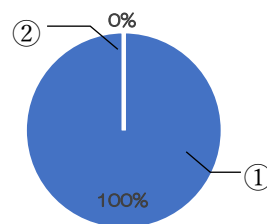


(参考：令和4年度調査)

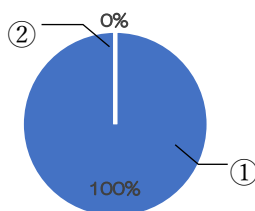


4 すべての生徒及び保護者に提示している校則を、学校ホームページに掲載し、地域住民への公表の状況

① 掲載している	218校 (100%)
② 掲載していない	0校 (0%)



(参考：令和4年度調査)

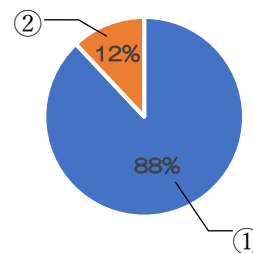


5 学校運営協議会などの地域の意見を参考にしたりして、定期的に校則を見直すことができる仕組みづくりの状況

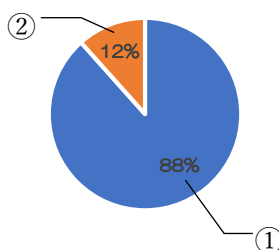
① できている	192校 (88%)
② できていない	26校 (12%)

※①と回答した場合の組織名

「学校運営協議会」、「学校評議員会」、「PTA 役員会」など



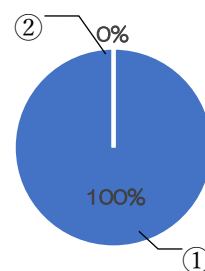
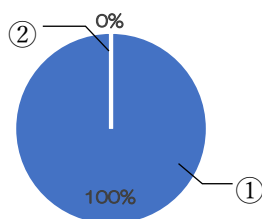
(参考：令和4年度調査)



6 生徒に「地毛証明」の提出状況

① 提出を求めている	218校 (100%)
② 提出を求めている	0校 (0%)

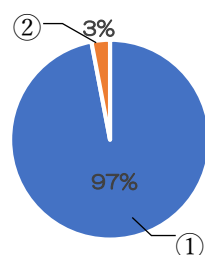
(参考：令和4年度調査)



7 校則に「ツーブロック」を禁止する記載状況

① 記載がない	212校 (97%)
② 記載がある	6校 (3%)

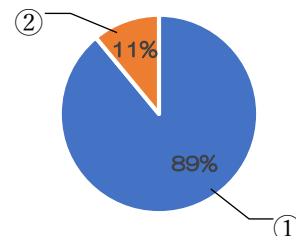
(令和4年度調査は同項目なし)



8 校則に「性自認」に配慮した内容についての記載状況

① 記載がない	195校 (89%)
② 記載がある	23校 (11%)

(令和4年度調査は同項目なし)



9 校則の見直しの例

(1) 通学に関するもの

- ・熱中症対策として、通学時の服装をジャージでもよいこととした。
- ・通学中における「歩きスマホ」の禁止を追加した。

(2) 校内生活に関するもの

- ・熱中症対策として、授業中の水分補給を認めた。
- ・各委員会の男女の数の規定を廃止した。

(3) 服装、髪型に関するもの

- ・制服を廃止した。
- ・男子の頭髪の長さ規定を緩和した。

(4) 所持品に関するもの

- ・携帯電話と一人一台端末の使用方法の違いについて明文化した。

(5) 欠席や早退等の手続き、欠席・欠課の扱い、考査に関するもの

- ・病気療養中等の生徒に対する教育保障について記載した。
- ・定期考査廃止にともない、該当項目を削除した。

(6) 校外生活に関するもの

- ・自動車学校の通学可能時期を早めた。
- ・「校外団体への参加届」を廃止した。

10 校則の見直しに対する課題

- ・生徒が自ら校則に関する課題を見つけたり、校則の意義について考えたりする意識を醸成することに時間を要している。